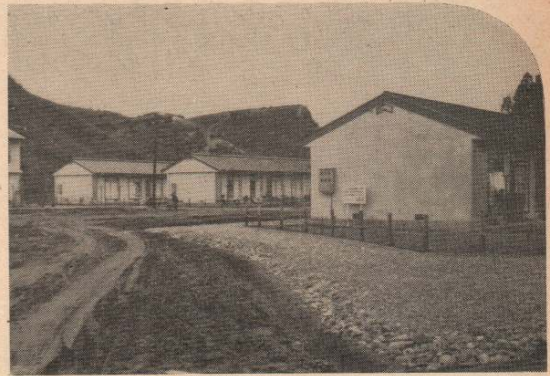




(大森野公営住宅)



(餅田公営住宅)

昭和42年度特別会計収支状況

<単位千円>

	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	179,320	168,862	149,558
用品	79,997	54,415	49,737
宅地造成	28,604	28,593	28,462
温泉開発	21,149	4,781	20,031
花矢簡易水道	6,321	5,779	4,589
農業共済	3,596	3,622	2,772
矢立診療所	709	714	377
育英資金	453	679	353
桂城土地区画整理	138	115	0
計	320,287	267,560	255,879

昭和42年度市税徴収状況

(43年3月31日現在)
(単位千円)

税目	調定額	収入額	未納額	収入率
市民税	168,455	149,965	18,490	89.0%
固定資産税	157,258	142,104	15,151	90.4%
鉱産税	57,427	76,501	10,926	87.5%
たばこ消費税	59,525	59,525	0	100%
木材取引税	9,082	8,415	667	92.7%
軽自動車税	7,288	5,819	1,469	79.8%
電気ガス税	27,509	27,045	464	98.3%
その他	2,511	2,480	331	86.8%

上水道事業

企業会計

市立病院事業

1. 事業の概要

給水世帯 5,378
1日平均給水量 8,000トン

42年度は、上水道拡張事業第1期工事の2年度に当たるため、9,512万4千円を計上し、水源池にポンプ場築造工事(30%の出来高)をはじめ、水源から代野団地に3,999m、狐台住宅団地へ1,278m、のほか、根下町、相染町にそれぞれ配管を完成させ、給水の普及をはかりました。

また、財政面では41年度から8ヶ年計画で不良資産9,855万3千円を解消するため、再建団体として承認を得ましたが、本年度は解消計画額1,510万5千円に対して1,745万円を解消しており、上水道事業も着々と好転をつけています。

2. 昭和42年度決算見込 (昭和42年4月1日~43年3月31日)

収益的収入及び支出

事業収益④	63,825,476円
事業費用⑤	59,878,809円
④-⑤	3,946,667円

資本的収入及び支出

資本的収入④	63,903,160円
資本的支出⑤	58,538,887円
④-⑤	5,364,273円

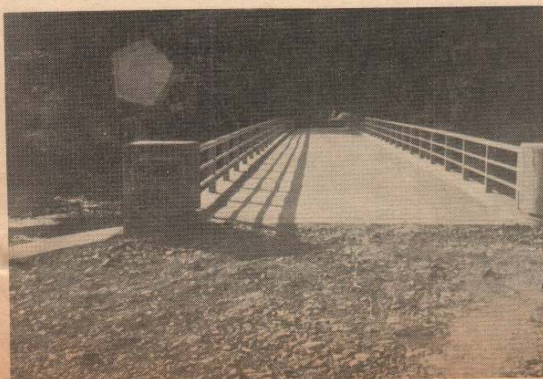
1. 事業の概要

42年度は、財政再建の第2年目(実質的には初年度)にあたりますが、あらゆる面で困難な状態のなかで地域の基幹病院としてはたすき医療を確保しながら、再建計画の遂行に努力し、また新病院建築事業は年度末には入札を終え、いよいよ着工にこぎつきました。運営面では、病院経営の原動力である医療種の体制強化と、医療設備の強化拡充につとめながら病院の公共性と企業制から合理的運営に一層努力する所存です。

2. 昭和42年度決算見込の状況(概要)

(単位千円)

(収益的収入)	決算見込額	(資本的収入)	決算見込額
診療収入	560,535	企業債	17,300
診療外収入	22,065	企業債償還負担金	5,872
期間外収益	40,040	計	23,172
計	622,640	(資本的支出)	
(収益的支出)		建設改良費	29,900
人件費	221,162	企業債償還金	22,833
材料費	200,581	再建債償還金	43,556
一般経費	56,072	割賦未払金	5,000
償却費	16,272	有価証券	107
研究費	18,018	電話加入権	10
支払利息	41,473	計	101,406
支学費	4,999	資本的収支差引不足金	78,234
病間外費用	355	は財当年度損益勘定留保金	16,627
計	558,932	て当年度利益剰余金処分額	63,708
収益的収支差引剰余金	63,708	人源計	80,335
		再差引剰余金	2,101



(大一通橋)



(山腹畜産)

大宮市の財政
市民の皆さんが常に関心を寄せられている市の財政が、現在のどのような状態にあるかを知っていただくために、毎年二回、財政事情の公表をおこなっております。この